

平成24年度 各部・学年目標

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
教務部	1 わかりやすい授業の展開 2 家庭学習の習慣づけ 3 授業に取り組む姿勢の育成 4 更なる学力向上策の検討	① 授業アンケートによる評価、授業改善 ② 「自宅学習計画・記録表」の活用、宿題・課題の成績評価への反映 ③ 授業マナーの指導の徹底 ④ 授業展開等の工夫を検討	① 「わかりやすい授業」について肯定的な解答.50% ② 家庭学習時間の増加 ③ 成績不振者の減少 ④ 授業態度の改善状況、来年度実施に向けた授業展開計画の作成
進路指導部	1 「入学しやすい大学」より「入学したい大学」 2 技術・資格を生かして必ず就職できる専門学校	① 学力向上 ② 上級学校研究	① 進学課外補習の充実、1・2学年各学期学力テスト活用、大学見学実施検討 ② 進路ガイダンスの充実
生徒指導部	1 基本的な生活習慣の確立 2 交通マナーの向上 3 問題行動の防止	① 時間を守る、身なりを正す指導を行う ② 登下校、LHR、集会等で指導 ③ 生徒の観察、教育相談等で問題行動の早期発見・早期対応	① 欠席、遅刻中抜けの数 ② 授業環境の充実、制服着用指導近隣からの苦情の件数 ③ いじめの発生件数
総務部	1 教育活動の広報 2 式典の円滑な運営	① 年2回の中学校訪問の充実、学習だよりの活用、保護者の学校行事への積極的参加 ② 行事实施要項の工夫、周知	① 中学校訪問の実施状況、行事への参加状況 ② 式典での生徒の参加態度
管理部	1 ゴミ分別の徹底 2 清掃の徹底	① 教室内での分別の徹底、集積場所での立ち番指導 ② 教職員・生徒の意識の向上を図る	① 学校技能員・業者からの評価 ② 保護者・生徒からの評価(学校評価アンケートによる)
保健 厚生部	1 健康で安全な環境の維持 2 健康意識の啓発	① 保健室来室、体調不良の生徒への適切な対応 ② 健康意識の向上	① 体調不良を訴える生徒を少しでも軽減させていく ② 保健だより等の活用
図書部	1 広報活動の充実 2 委員会活動の活性化 3 読書活動の充実	① 図書館内や校内の掲示板の活用 ② 蔵書点検、文化祭の取組を全員で行う ③ 図書館だよりを通して、読書活動の啓蒙をする	① トピックス・特集の内容と発行回数 ② 蔵書点検・文化祭の参加状況 ③ 図書館だよりの発行回数

第一学年	1 基本的な生活習慣の確立 2 学力の向上 3 主体的な進路決定	① 頭髪・服装・遅刻指導の実施 ② 「自宅学習計画・記録表」の活用及び授業態度調査の実施 ③ 進路ガイダンスの実施	① 1 学期段階の維持 ② 自宅学習計画・記録表実践の習慣化と欠点保有者の減少、学力テストの活用 ③ 進路ガイダンスの実施状況
第二学年	1 基本的な生活習慣の確立 2 学力、進路意識の向上 3 行事や特別活動への意識の高い取組	① 頭髪・服装・遅刻について積極的な呼びかけ、声かけ、地道な継続指導を行う ② 授業での指導、学力テスト等の活用 ③ 修学旅行等への積極的参加	① 月、学期ごとの集計、総括 ② 学力テストの結果・分析 ③ アンケート結果
第三学年	1 進路を決定し、希望を実現する 2 学力向上	① 進路ガイダンスの実施 ② 入試説明会への参加指導、学習時間の確保	① 進路ガイダンスの実施状況、入試説明会の参加・活用状況 ② 「自宅学習計画・記録表」記入状況

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
教務部	<p>① 生徒満足度調査で「わりやすい授業」について肯定的な意見が44%であり昨年より7%増加した。50%を超えるようより一層の改善に向けた努力が必要。</p> <p>② 「家庭学習計画・記録用紙」を各学年教務により継続的に配布し家庭学習の習慣化、学習時間の増加のための働きかけを実施した。</p> <p>③ i 朝自習の実施により生徒が自主的に学習目標を掲げて学習する意識付けを行った。 ii 「学習だより」を月初めに定期的に配布して、学習についての意識を高め、目標に向かって真剣に学習に取り組む姿勢の醸成に努めた。 iii 家庭学習の習慣化に向けて来年度から使用するスケジュール帳(仮称)の作成に取り組んでいる。</p>	<p>① より一層の改善を全職員に呼びかける。</p> <p>② より一層の家庭学習の習慣化に向けて「家庭学習計画・記録用紙」の活用を生徒に働きかける。</p> <p>③ i 朝自習参加生徒の増加のためにまだ参加していない生徒に活用を呼びかける。 ii 「学習だより」のさらなる内容の充実を図る。</p>
進路指導部	<p>①・進学課外実施予定 (平日)2年:2講座27名、 3年:12講座360名、 (夏季休業中)1年:2講座27名、 2年:1講座18名、 3年:10講座269名</p> <p>・1・2年1・2学期基礎学力試験3学期実力試験3年1学期基礎学力試験、模擬試験実施 ・2年校外学習にて大学見学要請 →今年度耐震工事により校外学習中止</p> <p>②・進路説明会1・2年1回、3年2回 1年:30分科会、2年:27分科会 3年:26分科会、直前ガイダンス:3大学</p> <p>・インターンシップ実施(夏季休業中) つくばね幼稚園1年4名、 1日ナース・医療者体験1年2名3年9名</p>	<p>①・平成24年度夏季休業中の進学課外は耐震工事により教室が使用できないため千葉商科大学・千葉工業大学の教室を借用して実施。来年度1・2年の進学課外講座が少ないので各教科に開講を要請</p> <p>・今年度より1・2年は全員各学期ごとに学力の定着度を計る実力試験を実施 ・今年度は耐震工事により校外学習中止のため、来年度、2年校外学習で大学見学検討要請。</p> <p>②・各学年、全体会と分科会を実施。同日の学年PTAにおいて予備校講師を招いて進路講演会実施。今年度耐震工事の影響により3学年進路説明会は規模を縮小して実施したが、2学期昨年受験者が多かった3大学講師を招いて入試直前ガイダンス実施。 ・来年度はなるべく1・2年生中心に実施をお願いする。</p>
生徒指導部	<p>①遅刻については学期を追うごとに増加傾向 制服の着用は登校時、ほぼ揃っているが、下校時は部活動のジャージや私服セーターが見られた。</p> <p>②登下校時の交通マナーの悪さの指摘、交通事故がありました。</p> <p>③いじめ調査により、部活動内でのいじめがありました。</p>	<p>①基本的な生活習慣の確立 登校指導、個別面談等の年間を通して実施し、遅刻・欠席・無断早退を各学年と協力して防止し努める。</p> <p>②交通ルールの遵守・交通マナーの向上に努める。</p> <p>③調査等を活用して、早期発見・早期対応に努める。</p>
総務部	<p>①・「情報提供を積極的にしている」と思わない保護者は減少したが、学校行事・PTA等の連絡が保護者に徹底していないのが現状である。 ・PTA研修会は年2回に増え、体育祭見学者や学年PTAの参加者も昨年と比べ倍増した。 ・中学校訪問を年2回行い、訪問中学校も増加した。</p> <p>②・式典開始前に指導部による服装指導を実施した。 ・3年生の欠席を考慮し、芸術鑑賞会を12月から9月に兼行した。</p>	<p>①・携帯電話のメール配信をさらに有効利用する。 ・クラス別PTAの実施を検討する。 ・中学校訪問のより効果的な時期と方法を検討する。</p> <p>②・生徒の参加態度に改善が見られた。 ・全生徒の出席が増加した。</p>

管理部	<p>生徒満足度調査の集計において、ゴミ分別の徹底や清掃の徹底への不満が6割を超えていたので、両者を実践させることの難しさを痛感している。生徒の心をどう動かして、どう実行させるか苦慮している。</p>	<p>①ゴミ集積場所で、担当生徒を設定し、生徒とともに仕分け・分別する。 ②全校集会等を利用し、清掃活動への参加を繰り返し促す。</p>
保健厚生部	<p>集団感染症の発生がなかったことで、その対応に苦慮しなかった。保健室への来室生徒の状況を分析して、生徒の健康意識の向上に努めた。検査・検診の実施・補助に全部員が当たった。</p>	<p>全校生徒への健康意識・健康生活の啓蒙・喚起を生活習慣（睡眠・栄養・運動・余暇活動）の面から捉えさせていく機会・ポスター・プリントなどで啓発していきたい。</p>
図書部	<p>生徒の満足度調査では「図書館が充実しているか」の問いに対して、42%の生徒が「分らない」と回答をしている。これは、「自分は図書館を利用していないので、判断できない」割合と考えて良いと思う。</p>	<p>どのような広報活動、啓蒙活動をしていけば、多くの生徒が図書館に足を運び、図書を手にとってもらえるのか更に検討していきたい。</p>
第一学年	<p>①頭髪・服装・遅刻に対し、1学期段階よりやや緊張感が減少しているが、許容範囲であると思われる。 ②欠点保有者が、1学期末よりやや増えたが、学力に関しては、学力テストの結果から今のところ現状維持にとどまっていると思われる。「自宅学習計画・記録表」の活用や、授業態度の調査は、適当な形で行えていると思う。なお、学習面に関する保護者や生徒へのアンケートでは、満足度は高い方だと思われる。 ③進路ガイダンスでは、全員が真剣に取り組む、興味を持って参加できた。アンケートでも満足度は高い。</p>	<p>①学年が上がり、生徒の考え方も安易な方へと流れがちになるため、学年職員全体で対応し、現段階の維持を図りたい。 ②「自宅学習計画・記録表」等の活用により、学習に対する意欲を向上させ、学力テストで自分の現状を理解させ、その上で目標を持たせ成績向上を目指させたい。また、授業態度や提出物などの生活面での指導を細やかに言い欠点保有者を減少させたい。 ③進路に関しての意識は高まってきているように思われるため、2年次においても、ガイダンス等をおこない、より現実的な進路選択を促していきたい。</p>
第二学年	<p>①学年全体で、継続指導が実施できている。 ②家庭学習の定着が、身につけていない生徒がいる。進路意識の低さが目立ち、具体的な目標が立てられない傾向がある。 ③生徒の満足度が非常に高かった。</p>	<p>①これからも生徒との対話を増やす。家庭との連携をさらに密にする。違反した生徒には段階的に指導を強めて改善させる。 ②主体的に学習に取り組めるような課題を与え、意欲を掻き立てる工夫をする。又、進路実現に向け具体的な目標を早めに設定させ、3年生からいいスタートが切れるようHRや集会等で呼び掛けて実践させたい。 ③引き続き協調性や思いやりを重んじ、さらにクラスの和を大切にさせたい。</p>
第三学年	<p>①5/23(水)に全体会、分科会Ⅰ、分科会Ⅱを実施し進路に対する意識付けができた。並行して保護者対象講演会を実施して好評をえた。また職員研修(大学・専門学校編)は7/12(木)に実施した。 ②今年度は本校の受験者の多い東洋・日大・駒澤の各大学の入試説明会を実施して多くの生徒が参加した。また、家庭学習計画表は4月から1月まで実施したが、2学期以降の生徒の提出状況は1学期ほど多くはなかった。受験にむけ塾・予備校に通い学習時間が増えた生徒の増加が見られたが、1年次からの家庭学習時間が少なく家庭学習習慣が定着していない生徒も見られた。</p>	<p>①今年度は耐震工事の影響で1・2年生の校外学習の日に実施できなかった。しかし、進路指導部との連携がうまくいき実施できた。 ②説明会の参加や学校見学は必須。また、今年度実施した「受験計画表」作成も大切。家庭学習計画・実施表の有効活用や日々学習課題の提示など、学年職員が共通理解したうえで実施するが必要と考える。なお、次年度の1学年から実施されるスケジュール帳は、有効活用できる可能性を充分持っていると考えられる。</p>